

第 8 回 富士見市文化芸術振興委員会議事録

日 時	平成 30 年 1 月 26 日 (月) 18:35～20:25						
会 場	鶴瀬コミュニティセンター 第 3 集会室						
出 席 者	加藤	氣賀澤	高野	上川	吉川	野村	岡島
	○	○	○	○	○	○	欠
	水野	肥田	関 (知)	田中	長坂	関 (仁)	渡邊
	○	○	○	欠	○	○	欠
	事務局：地域文化振興課 中嶋課長、佐藤、武井						
1	開 会						
2	委員長挨拶 加藤委員長						
3	議 事						
	協議事項については下記のとおり。						
	(1) 基本目標 3 活かすの本文の修正についてと前回までの見直し内容の確認について						
	委員) 施策の柱 3 「豊かな文化芸術活動活動が持続できる環境づくり」について、施策の柱で市内公共施設予約システムに関するものを削除とある。以前の会議でも発言したが、システムを導入して終わりではなく、現状起きている課題について、計画に反映されないのか。						
	事務局) 前回いただいた意見については、個別に公民館などの担当へ伝えている。また、今度行われる公共施設の会議で、地域文化振興課も出席予定であり、そこで議題としてあげる予定である。計画への反映については、基本目標 4 の施策の柱 4 でもシステムについて再掲としている箇所に施策の柱として追加できないか検討したい。課題の解決に向けては、現状、各施設でも課題の整理ができていないため、会議などで整理する必要がある。						
	委員) 同じく施策の柱 3 の取り組みの方向について、掲示板の活用に触れているが、富士見市の掲示板の運用方法については検討してもらいたい。掲示板の大きさに対して、貼ってあるものが多い。また、行事が終わったのに貼っていたり、開催の 1 か月以上前から貼っているケースも見受けられる。						
	事務局) 掲示板の運用方法については、この計画から少し離れてしまうため、担当課に事務局より意見があったことを伝えていく。						
	委員) 公民館などの掲示板に貼るスペースがないこともあるので、ぜひ担当課で検討してほしい。						
	委員) 施策の柱 4 「文化芸術を活かしたふるさと意識の共有」について、キラリ☆ふじみの事業について、市外の方が来ていたり市外に対しては、文化会館として一定の知名度が上がっていると感じているが、一方で市内に向けて、これだけ素晴らしい事業をやっているということをもっと						

発信したり、知ってもらえるような工夫が必要ではないか。
事務局)すでにキラリ☆ふじみでも様々な発信方法を実施しているところではあるが、引き続きより知ってもらえるように市内外に向けて発信していきたい。

(2) 基本目標4支えるの本文の修正についてと前回までの見直し内容の確認について

委員) 施策の柱1「文化芸術活動を支える(コーディネート機能)組織づくりの推進」について、計画で進める内容とキラリ☆ふじみの実情が一致しないように感じる。実際に、キラリ☆ふじみには、アソシエイトアーティストのような舞台のコーディネーターがいると思うが、アート分野でもその様な人材が必要なのではないか。

事務局) この計画は、キラリ☆ふじみに特化しているものではなく、市全体の施策に対するものである。キラリ☆ふじみを通じて、引き続き市がサポートをしていく。この施策の柱の主旨としては、市が絡んで作り上げていく市民主体の団体におけるコーディネート機能などを指しているということをご承知おきいただきたい。

委員) 施策の柱3「指導者の確保・育成、アーティストの活用」について、取り組みの方向にアーティストバンクの設立とあるが、アーティストの定義は。

事務局) アーティスト活動で生計を立てている人だと考えている。

委員) 実際に、それだけで食べていける人は全国を見ても少ない。その上、富士見市と限定したら更に少なくなる。そもそもアーティストバンクを設立できるだけの数があるのか。

事務局) 今回、アーティストバンク設立の検討としたことで、ご指摘の内容も踏まえ、線引きについては、併せて検討していく必要があると考えている。

委員) 施策の柱4「公民館や交流センター、コミュニティセンターなどの施設の充実」について、キラリ☆ふじみの大規模改修は本格的に始まる前に、今やっている事業の代替施設を考えないといけないのではないか。

事務局) 今度予定している大規模改修に関しては、躯体に関わるものではないので、何年もかかるような工事ではない。そのため、代替えの施設までは現状考えていない。しかし、ご指摘のとおり、躯体工事は今後20年、30年後に行われる可能性が非常に高く、その時までにはそういった大規模な工事に対してどうするか計画も考えていかなければならないと考えている。

委員) 施策の柱7「行政の文化化」について、職員対象の研修に傍聴として、振興委員会の人に参加するということはできないのか。

事務局) 研修の担当課に確認し、改めて次の会議などで回答する。

(3) その他

事務局より、下記2点を説明。

- ・今後のスケジュールについて、事務局から報告。
 - 1 2月 3日(月) アドバイザーとの会議
 - 1 2月 12日(水) 市長・副市長・教育長への説明
 - 1 2月 19日(水) 政策会議の事前打合せ
 - 翌1月 8日(火) 政策会議
 - 翌2月 1日(金) パブリックコメント募集開始
 - 翌3月中旬～下旬 庁内委員会・振興委員会

4 閉会 氣賀澤委員長